

火山活動評価研究の現状と今後の展望

開催日時 2024年11月18日(月)～19日(火)

開催場所 現地：京都大学防災研究所附属火山防災研究センター
桜島火山観測所（鹿児島市桜島横山町1722-19）

オンライン：Zoomウェビナー

参加人数 現地：定員30名 オンライン：200名

傍聴者の参加はオンラインを主体とします

参加方法 下記のURLもしくはQRコードでフォームに
アクセスし、登録してください
先着順、定員になり次第締め切ります

噴火災害軽減のため、気象庁は火山活動を監視、評価して噴火警報・噴火警戒レベルを発表しています。また、今年度から文部科学省に政府の特別の機関として火山調査研究推進本部が設置され、総合的な火山活動の評価を実施することになりました。このように、火山活動評価は社会から認知され、火山防災対策を進めるうえでも重要となっていく一方で、必ずしも定量的に行われている段階ではなく、この分野の学術的研究の更なる進展が望まれています。

本研究集会では、研究者や官庁関係者が一堂に会し、火山活動評価研究の現状を振り返るとともに、今後あるべき研究の方向性等について意見交換を行います。

写真：鹿児島地方気象台提供（撮影：中橋正樹氏）

1日目 11月18日(月) 13:00～17:15

○ 講演（その1）

・ 基調講演

13:10-14:00 井口 正人（鹿児島市/京大名誉教授）

・ 一般講演

14:00-14:30 高木 朗充（気象研究所）

14:30-15:00 為栗 健（京都大学防災研究所）

15:15-15:45 森 俊哉（東京大学理学部）

15:45-16:15 宗包 浩志（国土地理院）

16:15-16:45 下司 信夫（九州大学）

16:45-17:15 橋本 武志（北海道大学）

基調講演

「火山活動推移の基本的な考え」

鹿児島市火山防災専門官
京都大学名誉教授

井口 正人



井口 正人

2日目 11月19日(火) 09:00～12:00

○ 講演（その2）

・ 一般講演（つづき）

09:00-09:30 碓井 勇二（気象庁）

09:30-10:00 相澤 幸治（文部科学省）

○ パネルディスカッション

10:10-11:50 「評価、監視と防災の現場が求める
火山活動評価研究とは」

パネラー： 井口 正人（鹿児島市/京大名誉教授）

為栗 健（京都大学防災研究所）

森 俊哉（東京大学理学部）

宗包 浩志（国土地理院）

下司 信夫（九州大学）

碓井 勇二（気象庁）

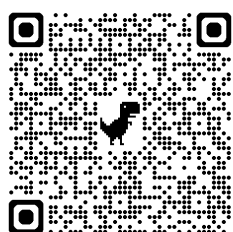
清水 洋（防災科学技術研究所

・ 文部科学省火山調査委員会）

コーディネーター：高木 朗充（気象研究所）

参加申し込み

現地参加、オンライン参加とも下記のリンク、もしくはQRコードで登録ください。後日、ZoomウェビナーのURLをお伝えします。締切は2024年11月14日ですが、定員になり次第締め切ります。



<https://forms.gle/g9eU3PGYqMcvZ4H79>

■ 主催 ■ 後援

京都大学防災研究所

文部科学省（予定）

気象庁

特定非営利活動法人 日本火山学会

■ 問合せ先

高木朗充 atakagi@mri-jma.go.jp

為栗 健 tameguri.takeshi.2u@kyoto-u.ac.jp